

小規模多機能ホーム誠花 サービス評価

(令和4年度)

R
4

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・(ス-①～⑨) ※省略
事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-①～⑨)

◆外部評価

外部評価(地域かかわりシート①)・・・・(地①-1～3) ※省略
外部評価(地域かかわりシート②)・・・・(地②-1～6)

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月11日 (14:30 ~ 16:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 事業所スタッフ 15名 (常勤4名・非常勤11名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	11人	1人	0人	15人

前回の改善計画	<p>・ケアマネジャーや介護リーダーを中心に、ご利用者の情報共有が十分に行えるよう、ミーティングその他の場面を利用してしっかりと申し送りを行う。また報告に対してはフィードバックを行い、経過・結果についても共有できるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>新規の利用者の情報については、事前に提供するなどして情報共有に努め、概ね達成できていたと思う。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	5	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	2	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	13	0	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	10	3	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>新規の利用者に対し、気遣いや声かけをするよう意識しており、またケアプランや申し送りノートを見るなどして情報共有を図り、必要と思われる支援の提供に努めているスタッフが多い。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>新規の利用者の情報については、事前に把握しうる限りの情報を提示し、情報共有を図っているが、それが不十分と感じているスタッフがいる。また関係づくりのための配慮がうまくいかないと感じているスタッフもいる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>ケアマネジャーや介護リーダーを中心に、サービス開始前に、ニーズや困りごとも含めた本人の情報把握と共有を図り、また良好な関係を作るためにコミュニケーションを図り、本人・家族ともに安心してサービスを利用していただく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月11日 (14:30 ~ 16:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 事業所スタッフ15名(常勤4名・非常勤11名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	2人	0人	13人 (無回答2)

前回の改善計画
 ケアプランの周知や普段の関わりの中で、ご本人の気持ちの把握を図ったうえで、スタッフとの情報共有を図り、気持ちにより添ったケアができるよう努める。また普段のケアについて、ミーティングの場を利用して適宜振り返りを行い、情報の共有を図ることで統一的なケアができるよう努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
 日々の関わりやミーティングの場などを通じて本人・家族の思いを把握するよう努めたが、本人の目標を目指したケアにまでは十分繋がっていなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	7	6	0	13 (無回答2)
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	11	3	0	14 (無回答1)
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	9	4	0	13 (無回答2)
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	5	0	13 (無回答2)

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ミーティング時に事例を検討するなどして、ケアプランや日々の実践に活かせるよう図っているほか、日常的な支援の中で、利用者とのコミュニケーションを図り、一人ひとりに寄り添ったケアを提供しようと努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

普段の気づきについて、ミーティングに参加できなかったスタッフに対するフォローが不十分であると感じているスタッフがあり、そのことが、プランやケアに対する周知や情報共有が不十分であると感じる一因になっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

ケアプランの周知を図り、また日常のケアについて、ミーティングの場を利用するほか、日々の気づきをその都度振り返り、本人の思いについて共有できるよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月11日 (14:30 ~ 16:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 事業所スタッフ15名(常勤4名・非常勤11名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	3人	人	13人 (無回答2)

前回の改善計画

ケアプランや利用者台帳の理解に努めたいと、ご本人やご家族とのやりとりや家庭の様子なども参考にしてお本人の気持ちの理解を図り、ご利用者の「声なき声」を聴きとり言葉にできるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

これまでの暮らしについての把握は十分行えていなかったが、日々のケアは丁寧に行い、本人や家族とのコミュニケーションも意識して取り組んでいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	5	8	0	14 (無回答1)
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	10	0	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	10	3	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	10	0	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	10	1	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

日々の気持ちや体調変化への対応、また現在の身体状況に合わせた基本的な介護については、その時のスタッフ間で情報を共有し、即時的な対応が行えている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

日々のやり取りの中で、今の気持ちや思いを聞き取ることは多いが、現在の利用者の「思い」を形作っている「これまでの暮らし」についての把握が不十分と感じているスタッフが多い。また把握した情報を共有するという意識が希薄である。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

本人や家族とのコミュニケーションや家庭の様子なども参考にしながら、これまでの暮らし方を知り、利用者台帳を更新することで、情報の共有を図り、日々のケアに活かしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月11日 (14:30 ~ 16:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 事業所スタッフ15名(常勤4名・非常勤11名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	6人	1人	14人 (無回答1)

前回の改善計画	家庭や地域・ご本人とのコミュニケーションにより得た情報を元にスタッフ全体で利用者台帳を随時更新し、ご利用者の地域のつながりなど様々な側面を知ることができるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人・家族とのコミュニケーションを大事にしていたが、オフィシャルな情報として共有されることが少なく、本人・家族と地域とのつながりや社会資源の把握も十分ではなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係を理解していますか?	3	5	5	0	13 (無回答2)
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	7	3	1	13 (無回答2)
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	6	4	1	13 (無回答2)
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	7	2	13 (無回答2)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>本人と家族の関係が希薄にならないよう、家族などとは連携を図り、家族支援ができる事は家族に支援してもらおうようにしている。また必要に応じ、地域の社会資源を活用し、可能な限り事業所で丸抱えしないよう努めている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>事業所が関わっていない時間の過ごし方や、社会資源とのつながり方の把握が不十分と感じているスタッフが多い。普段の関りについての情報共有は意識している反面、社会資源の利用状況など、事業所が関わらない時間の過ごし方についての情報共有の意識が薄い。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>家庭や地域・ご本人とのコミュニケーションにより得た情報を元にスタッフ全体で利用者台帳を随時更新し、ご利用者の地域のつながりなど様々な側面を知ることができるよう努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月11日 (14:30 ~ 16:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 事業所スタッフ15名(常勤4名・非常勤11名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	4人	0人	13人 (無回答2)

前回の改善計画	日々の利用形態にこだわりすぎず、引き続きその日その時で本人の状態・ニーズに合わせて、柔軟な支援を行う。また、家族や地域資源の活用なども含めた幅広い選択肢を提案できるよう意識する。
前回の改善計画に対する取組み結果	できる範囲でその都度、柔軟にサービス提供を行ってきたが、社会資源の活用までは十分意識できていなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	8	1	13 (無回答2)
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	8	3	1	14 (無回答1)
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	10	2	0	14 (無回答1)
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	11	1	0	14 (無回答1)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者の心身の状態変化について、日々の申し送りやミーティングの場で情報を共有し、また、なるべく本人の気持ちに寄り添いながら、形態にこだわらずに、その場その時の利用者の状態に合わせ、柔軟に対応できている</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>社会資源とのつながり方の把握が不十分と感じているスタッフが多い。普段の関りについての情報共有は意識している反面、社会資源の利用状況など、事業所が関わらない時間の過ごし方についての情報共有の意識が薄い。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>日々の関わりの中から気付いた利用者の変化に対し、即時的またはミーティングの場で情報を共有し、社会資源の活用も含めて柔軟に対応できるよう、幅広い選択肢の提供に努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月11日 (14:30 ~ 16:00)

6. 連携・協働

メンバー 事業所スタッフ15名(常勤4名・非常勤11名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	1人	8人	4人	13人 (無回答2)

前回の改善計画	<p>・運営推進委員会の内容について、スタッフにも周知を図り、地域の情報が各スタッフに届くようにする。</p> <p>・地域コミュニティ会議等の地域で開催される会議やイベントには、多くのスタッフが出席できるようにし、地域の情報収集・地域課題の把握に努めていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>地域での会議やイベントの開催状況の把握に努めていたが、コロナ禍ということもあり開催自体が少なく、また事業所での感染拡大予防のため、参加を控えたケースもあり、取組みが難しかった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	0	6	7	13 (無回答2)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	6	7	13 (無回答2)
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	3	4	6	13 (無回答2)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	3	9	13 (無回答2)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ケアプラン更新時のサービス担当者会議においては、各関係機関に出席を依頼し、参加できない場合などでも事前に意見の聴取などを行っている。また地域で開催される会議やイベントについては、可能な範囲で参加できるよう配慮した。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>新型コロナウイルス感染拡大予防のため、事業所自体も外部との接触を制限している。地域においても同様に各種会議やイベントの開催に制限があり、中止が相次いだ。そのため地域とのつながりを実感する機会が極めて少なかった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・運営推進委員会の内容について、スタッフにも周知を図り、地域の情報が各スタッフに届くようにする。</p> <p>・地域コミュニティ会議等の地域で開催される会議やイベントには、多くのスタッフが出席できるようにし、地域の情報収集・地域課題の把握に努めていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月11日 (14:30 ~ 16:00)

7. 運営

メンバー 事業所スタッフ15名(常勤4名・非常勤11名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	6人	2人	14人 (無回答1)

前回の改善計画

- ・運営側と職員側との面談の機会を確保するほか、職員同士の日々のコミュニケーションと情報共有を大事にし、働きやすい職場作りに努める。
- ・地域からの相談には、引き続き積極的に関わり、地域に必要とされる施設づくりを行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

家族や利用者に関する日々の変化や必要事項の伝達などの情報共有はできていたが、業務改善や対人関係改善の為にコミュニケーションが十分ではなく、地域との関わりについても積極的に行えていなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	6	5	3	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	2	1	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	8	2	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	8	3	14 (無回答1)

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者・家族からの意見については、可能な限りスタッフ間で共有し、必要に応じて運営改善につなげるよう努めた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、地域と事業所がこれまでのように接点を持ちにくく、事業所が地域における社会資源のひとつであるという意識が希薄になっており、地域とのつながりにおいて受動的になりがちであった。
また所内においては、積極的に意見を出し合い、働きやすい職場を醸成するという意識に差がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

地域との積極的に関わることで相談を受けやすい関係作りを図り、地域に必要とされる事業所作りに努める。また職員同士話しやすい雰囲気作りに努め、相談や提案には適切な方法でフィードバックする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月11日 (14:30 ~ 16:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 事業所スタッフ 15名(常勤4名・非常勤11名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	3人	3人	12人 (無回答3)

前回の改善計画	<p>所内外を問わず、少しでも資格取得やスキルアップにつながる研修に参加できる機会を作り、またひとりでも多くその機会を利用できるようにする。またその内容を事業所全体にフィードバックして、個々のサービスの質向上を図る。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>毎月所内で研修や事例検討の機会を設け、また外部研修の案内も適宜行っているが、十分その機会を活用できていないと感じているスタッフが多い。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	3	5	3	14 (無回答1)
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	4	4	14 (無回答1)
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	5	8	13 (無回答2)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	3	3	12 (無回答3)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>毎月、各種テーマに沿って所内研修を実施しており、リスクマネジメントについても、事業所内で起きた事例を元に、毎月検討会を開いている。外部研修についても、行政からの案内についてはなるべく参加するようにし、その他の社会教育団体等からの研修に関しても、全員に周知して参加を推奨している。またグループ全体の取り組みとして、介護福祉士やケアマネジャーの資格取得のための研修を開催している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>日程の都合などで、毎回研修に参加しない・できないスタッフがいる(参加できなかった場合は資料等を見て、研修内容を確認するようになっている)。また任意の研修については参加者自体も少ない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>資格取得やスキルアップに繋がる所内外の研修の情報提供や参加機会の創出を行い、直接・間接問わず、ひとりでもその機会を利用できるような取り組みをさらに進めていく。またその内容を事業所全体にフィードバックして、個々のサービスの質向上を図る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月11日 (14:30 ~ 16:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 事業所スタッフ15名(常勤4名・非常勤11名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	5人	1人	0人	14人 (無回答1)

前回の改善計画	毎月身体拘束・高齢者虐待に関する研修会・委員会の開催を継続するなど、プライバシーも含めた人権擁護に関する取り組みを今後も進めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月所内で研修や事例検討の機会を設け、またミーティングなどで折に触れて注意喚起を行うことで、意識高揚に繋がっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	13	1	0	0	14 (無回答1)
②	虐待は行われていない	13	1	0	0	14 (無回答1)
③	プライバシーが守られている	12	2	0	0	14 (無回答1)
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	5	3	3	11 (無回答4)
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	6	0	0	14 (無回答1)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待・プライバシー等の人権問題については、定期的に研修や委員会を開催するほか、ミーティングの場においても毎回話題に出して注意喚起を図っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日常的に啓発しているが、時として、配慮にやや欠けると思われる関わり方が見られる。呼称や声かけ・排泄や入浴の支援等、無意識に行っていることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今後も定期的に身体拘束・高齢者虐待に関する研修会や委員会を開催し、またプライバシー保護も含めた人権擁護に関する取り組みを推進する。また日々のケアの中でも折に触れて注意喚起を図る。	

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない (無回答含む)
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6		1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	4		3
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	4		3
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5		2

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・集まること自体がなかなか難しいとは思いますが、このような取組みは必要だと思う。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・新しく委員になったが、まだよく事業所の内容なども判らないことが多いので、評価が難しい。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・新しく委員になったが、まだよく事業所の内容なども判らないことが多いので、評価が難しい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・資質向上のための研修は引き続き行ってほしい。
- ・虐待防止にももしっかり取り組んでいる様子なので安心する。

【改善計画】※

○自己評価の結果をスタッフ全体に周知し、全体及び個々の課題に対して意識的に取り組めるように働きかけていく。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない (無回答含む)
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		4
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4		3
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		3
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5		2
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・中に入って直接見られるわけではないが、写真などを見ると、快適な空間づくりに努めている様子がうかがえる。

【前回の改善計画】

○事業所内だけでなく、事業所周辺についても、地域の方の助力も得ながら美観を整え、地域住民にとって、少しでも訪れやすい事業所を目指す。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・事業所での日頃の様子や、食事なども写真でよく判り、スタッフが工夫をしている様子が見られる。
- ・スタッフにとっても働きやすい環境作りに取り組んでほしい。

【今回の改善計画】※

○感染対策などには十分配慮しながら、地域の方や関係機関の受け入れはできる限り積極的に行い、また季節感や楽しみのある空間づくりに努め、利用者にとっても居心地のいい事業所を目指す。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない (無回答含む)
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		3
1	職員はあいさつできていますか？	5		2
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3	2	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3		4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域コミュニティ協議会の行事や会合等開催されなかったものも多かったのも多かったので、参加できないのは仕方ない部分もあると思う。
- ・スタッフの明るい対応は好感が持てる。
- ・地域の方への知名度が高くないというのは、利用者・家族へのアンケートでもあがっていた。

【前回の改善計画】

○地域の社会資源のひとつとして、地域での認知度を上げるため、地域の行事や会合などにできるだけ参加するほか、民生委員の皆さんとの関係作りに努め、地域から相談しやすい事業所を目指していく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地域コミュニティ協議会の一員として役割を果たそうとしてくれている。
- ・コロナ禍で仕方ないことだとは思いますが、自分たちがボランティア活動として利用者さんと交流する機会が持てないのは残念。
- ・情報共有のためにも、運営推進委員・民生委員と月1回程度は顔を合わせて、近況を知らせてほしい。
- ・地区のグラウンドゴルフなどにも顔を出してみてもいい。

【改善計画】※

○地域の社会資源のひとつとして、地域での認知度を上げるため、地域の行事や会合などにできるだけ参加するほか、民生委員の皆さんとの関係作りに努め、地域から相談しやすい事業所を目指していく。(前回からの継続)

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない (無回答含む)
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3	2	2
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	1		6
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・コロナ禍でもあり、地域の行事などへの参加も難しかったとは思いますが、できる範囲で工夫して取り組んでいるのは理解できた。

【前回の改善計画】

○利用者のこれまでの地域とのかかわりや地域の社会資源の把握に努め、積極的な関係作りや資源の活用を図る。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

・利用者にとってもスタッフにとっても、地域と関わることは難しいのはよく判る。早く元に戻ればいいと思う。
・プライバシーにも配慮しながら活動に参加するのはなかなか大変なところもあるのではないかな。

【改善計画】※

○利用者のこれまでの生活の歴史の中での地域住民や社会資源とのかかわりを知り、地域とのつながりを意識した関わりを持てるよう心がける。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない (無回答含む)
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3		4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5		2
4	運営推進会議で出した意見を、改善につなげていますか？	3		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・資料を見ることで、事業所の取組みはある程度理解できる。

【前回の改善計画】

○必要に応じて、委員の方に個別的に意見を聞いたり相談したりする機会を設けることで、会議の場をより有意義なものにできるよう努める。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・情報共有のためにも、運営推進委員・民生委員と月1回程度は顔を合わせて、近況を知らせてほしい。
- ・委員になったばかりでまだあまり自分がどういうことをすればいいか理解できていないところがある。

【改善計画】※

○必要に応じて、委員の方に個別的に意見を聞いたり相談したりする機会を設けることで、会議の場をより有意義なものにできるよう努める。(前回からの継続)

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない (無回答含む)
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		4
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	2	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2		5
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	3	3
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、相互の防災訓練に参加できなかったのは理解できる部分もある。
- ・日程が判れば事業所の訓練にも参加したい。

【前回の改善計画】

○地域・事業所の実情に合わせた非常災害対策計画を策定し、また地域の防災訓練にも参加して、有事の際には委員の方をはじめとした地域住民の協力が得られるよう準備しておく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・地域コミュニティ協議会においては、各町内会単位での防災訓練の実施を推進しているところである。

【改善計画】※

○地域・事業所の実情に合わせたBCP（事業継続計画）を策定し、また地域の防災訓練にも参加して、有事の際には委員の方をはじめとした地域住民や周辺事業所の協力が得られるよう準備しておく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 里幸	代表者	前原 くるみ	法人・事業所の 特徴	「ゆっくりゆっくりけれどもしっかり」「あつたか地域であつたか交流 みんなで作ろうあつたかか輪」の基本理念のもと、ひとりひとりに丁寧に丁寧に関わる、地域に開かれた事業所を目指している。
事業所名	小規模多機能ホーム 誠花	管理者	久富木 良		

出席者 (アンケート送 付)	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	2人	1人	人	人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<p>○ケアマネジャー・介護リーダーを中心に、家族や関係機関とも連携を図った上で情報共有を確実に図り、利用者・事業所・スタッフ・地域などの課題に対し、地域も含めたチームでの解決を図る。</p>	<p>・高齢者虐待など研修の機会などで定期的に取組んでいるが、地域とのつながりなどについては、定期的な振り返りの機会が少なく、意識できているところは言い難いところもあった。</p>	<p>・集まること自体がなかなか難しいとは思いますが、このような取組みは必要だと思ふ。 ・資質向上のための研修は引き続き行ってほしい。 ・虐待防止にもしっかり取り組んでいる様子なので安心する。</p>	<p>○自己評価の結果をスタッフ全体に周知し、全体及び個々の課題に対して意識的に取り組めるように働きかけていく。</p>
B. 事業所の しつらえ・環境	<p>○事業所内だけでなく、事業所周辺についても、地域の方の助力も得ながら美観を整え、地域住民にとって、少しでも訪れやすい事業所を目指す。</p>	<p>・地域行事の中止や事業所の立入制限等により、開かれた事業所としての認知度は十分ではなかったかもしれないが、利用者にとって居心地のいい空間となるよう心がけていた。</p>	<p>・中に入ってから直接見られるわけではないが、写真などを写すことで、快適な空間づくりに努めている様子がうかがえる。 ・事業所での日頃の様子や、食事なども写真でよく判り、スタッフが工夫をしている様子が見られる。 ・スタッフにとっても働きやすい環境作りに取り組んでほしい。</p>	<p>○感染対策などには十分配慮しながら、地域の方や関係機関の受け入れはできる限り積極的に行い、また季節感や楽しみのある空間づくりに努め、利用者にとっても居心地のいい事業所を目指す。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>○地域の社会資源のひとつとして、地域での認知度を上げるため、地域の行事や会合などにて、ただけ参加するほか、民生委員の皆さんとの関係作りに努め、地域から相談しやすい事業所を目指していく。</p>	<p>・地域コミュニティ協議会の行事や会合等開催されず、地域そのものが従来通りの活動ができていなかったところもあつたが、その中でも、定期的に民生委員の方や地域包括支援センターへ訪問したり、地域ケア会議に出席したりして、地域とのつながりと保とうと心がけた。</p>	<p>・地域コミュニティ協議会の行事や会合等開催されたので、参加できないのは仕方ない部分もあると思う。 ・スタッフの明るい対応は好感が持てる。 ・地域での知名度が高くないというものは、利用者・家族へのアンケートにもあつた。 ・地域コミュニティ協議会の一員として役割を果たそうとしてくれている。 ・コロナ禍で仕方ないことだとはいえ、自分たちがボランティア活動として利用者さんと交流する機会が持てないのは残念。 ・情報共有のためにも、運営推進委員・民生委員と月1回程度は顔を合わせて、近況を知らせてほしい。 ・地区のグラウンドゴルフなどにも顔を出してみたい。</p>	<p>○地域の社会資源のひとつとして、地域での認知度を上げるため、地域の行事や会合などにて、ただけ参加するほか、民生委員の皆さんとの関係作りに努め、地域から相談しやすい事業所を目指していく。(前回からの継続)</p>
<p>D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>○利用者のこれまでの地域とのかかわりや地域の社会資源の把握に努め、積極的な関係作りや資源の活用を図る。</p>	<p>・サービス利用に関らず地域からの相談に対応したり、地域資源を利用したりして、地域での生活を支えられるように努めていたが、地域での生活実態が十分把握できていないことも多くあつた。</p>	<p>・コロナ禍でもあり、地域の行事などへの参加も難しかったとは思いますが、できる範囲で工夫して取り組んでいるのは理解できた。 ・利用者にとってもスタッフにとっても、地域と関わることは難しいのはよく判る。早く元に戻れば良いと思う。 ・プライバシーにも配慮しながら活動に参加するのはなかなか大変なところもあるのではないかと。</p>	<p>○利用者のこれまでの生活の歴史の中で地域住民や社会資源とのかかわりを知り、地域とのつながりを意識した関わりを持つよう心がける。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>○必要に応じて、委員の方に個別的に意見を聞いたり相談したりする機会を設けることで、会議の場をより有意義なものにできよう努める。</p>	<p>・資料を見ることが、事業所の取り組みはある程度理解できている。 ・情報共有のためにも、運営推進委員・民生委員と月1回程度は顔を合わせて、近況を知らせてほしい。 ・委員になったばかりでまだあまり自分がどういふことをすればいいか理解できていないところがある。</p>	<p>○必要に応じて、委員の方に個別的に意見を聞いたり相談したりする機会を設けることで、会議の場をより有意義なものにできよう努める。(前回からの継続)</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>○地域・事業所の実情に合わせた非常災害対策計画を策定し、また地域の防災訓練にも参加して、有事の際には委員の方をはじめとした地域住民の協力が得られるよう準備しておく。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、相互の防災訓練に参加できなかつたのは理解でき部分もある。 ・日程が判れば事業所の訓練にも参加したい。 ・地域コミュニティ協議会において、各町内会単位での防災訓練の実施を推進しているところである。</p>	<p>○地域・事業所の実情に合わせたBCP(事業継続計画)を策定し、また地域の防災訓練にも参加して、有事の際には委員の方をはじめとした地域住民や周辺事業所の協力が得られるよう準備しておく。</p>
<p></p>	<p>・会議の場を利用して様々な意見を聞き取るよう心がけていたが、意見を出してもらいやすくなるための資料の準備などが不十分であった。</p>	<p>・BCPの策定が義務付けられているが、今のところ取り組みが不十分で、ほかの事業所の動向を見ながらの日和見状態である。</p>	<p></p>